

笑顔と水しぶきはじけた夏のカヌー教室

町内の小中学生を対象とした「B&Gカヌー教室」が8月1日に古谷池(金田)で開催されました。参加者18人は、約3時間の教室でカヌーやローボートを操船し、池一面を周遊。乗船早々は思うように進むことができず四苦八苦の子どもたちでしたが、終盤には操作に慣れ笑顔でカヌーを乗りこなしていました。



↑この教室は今年で3回目。夏休みの思い出作りとして子どもたちに大好評。

↓出発前に大和晃士監督(左)と共に黒土町長を表敬訪問し、激励を受けた2人。



**2 第45回 全日本選手権ポニー大会出場
年連続の全国大会で得た経験と自信**

中学硬式野球ポニーリーグの嘉麻ボーイズが2年連続で全国大会に進出し、赤池中2年の小野山結人くん(写真左)と金田中2年の森大智くんが出場しました。宮崎県で7月22日に行われた初戦、神奈川県が強豪に最終回までもつれる1点差の接戦の末敗退。悔しい経験を糧に最終学年でのさらなる飛躍を誓いました。

↓昨年作った竹の枠組みに屋根を作るなど、子どもの発想を大学生が実現。



**竹 福智バンブー・スペース・プロジェクト
林がつないだ東京の学生との絆**

日高将博さん宅(市場)の竹林で、東京の大学生が行う取り組みが3年目を迎えました。これまでの活動を支えてくれた地域への貢献と交流を目的に、8月6日から約1週間草場公民館に滞在。農作業や倒木処分を手伝う代わりに食材や風呂の提供を受け、絆を深めました。10日に行った子どもとの体験企画も盛況でした。

**命 同和問題啓発強調月間講演会
命と向き合い続けた47年の教訓伝える**

7月の強調月間に合わせ、元食肉解体作業員の坂本善喜さんを招いた講演会が7月30日に地域交流センターで行われました。命を扱う仕事の中で受けた差別や中傷、それを乗り越えて得た誇りと感謝を柔らかい言葉で講演。「命に優しくなれたら人にも優しくなれる」と教訓を伝え、会場の約350人の心を打ちました。



↑ある少女と一匹の牛との出会いから学んだ「命を頂く感謝」の大切さを熱弁。

↓2日目は村の児童と一緒に本部町を訪問、美ら海水族館の観賞やビーチでの遊泳を楽しみました。



**遥 沖縄平和学習「少年の翼」
か南の島で「ちむどんどん」**

25年の深いつながりをもつ兄弟都市・沖縄県中城村との相互交流事業。8月3日からの3日間で小学5年生から6年生の参加者15人は村の家庭に民泊し、地元児童と交流を深めました。世界遺産「中城城跡」の見学や沖縄戦跡への訪問などを通して異文化を全身で学習。子どもたちは、沖縄県でしかできない体験に終始「ちむどんどん(わくわく)」の様子でした。

**中 方城中学校職場体験学習
学生の将来の選択肢増やす職場体験**

方城中学校2年生47人の職場体験が8月1日から2日間行われ、希望する事業所など14か所を訪問しました。福智町役場にも3人が訪れ、写真撮影や取材、編集など広報紙制作の一連の流れを体験。役場職員へのインタビューや他の職場で働く同級生の様子をA3用紙一枚にまとめ、行政の業務内容を学びました。



↑広報制作を体験した写真左から原田颯士くん、原田正心くん、松井秀二くん。

↓女性ならではの丁寧さを活かした作品制作が、審査員から高い評価を獲得。



**悔 第18回高校生ものづくりコンテスト
悔しさバネにつかんだ県大会優勝**

田川科学技術高等学校3年生の大井梨凜さんが、6月8・9日に開催された「高校生ものづくりコンテスト」福岡県大会の木材加工部門で見事優勝を収めました。前年は惜しくも入賞を逃し、悔しさをバネに今大会へ挑んだという大井さん。「次の目標は、大工技能検定2級の取得」と、その先に向けた意気込みを語りました。